

# 生活科の実践

函館市

生活科

1年

繰り返しかかわることで発見や工夫が生まれる！

## こうえんで あそぼう

<http://www.fan.hi-ho.ne.jp/douseiren/>  
この指導案は、上記のHPよりダウンロードすることができます



公園の遊具や自然に親しみ、遊ぶことから、友達とのかかわりの楽しさなどに気付かせていました。繰り返し公園に出かけることで新しい遊びの発見や工夫が生まれ、遊び方が広がったり深まったりするようにしました。また、行き帰りの道路や公園でのマナーなどの指導を通して、安全に気をつけながら楽しく活動する意識が高まるようになりました。

### 学習活動の流れ（16時間）

特別活動における安全指導やマナー指導との関連を図りました。

5回ほど公園に出かけました。学校にもどってから、カードに絵や文で振り返ったり、遊びの交流をしました。

絵や文に表す活動では、国語や図工の表現活動における指導との連続性を意識しました。

#### つうがくろでみつけたよ（4）

- ・通学路にある施設や自然などについて知っていることを発表し合う
- ・みんなで通学路を歩いて、見つけたことや気付いたことなどを交流する

#### こうえんにいこうよ（18）

- ・身近な公園について知っていることを教え合ったり、公園で遊ぶ計画を立てたりする
- ・公園に出かけ、遊具や自然を生かして遊ぶ
- ・公園での遊びを振り返ったり、互いの気付きを交流し合ったりする活動を通して、次回の公園遊びに向けての思いや願いを深める

#### みんなあそびめいじんだね（3）

- ・単元全体を振り返り、遊びの内容や友達とのかかわりの広がりや深まりに目を向ける
- ・相互評価や教師からの評価をもとに、自分や友達のよさに気付く
- ・公園遊びを生かして、今後の遊びへの思いや願いを広げる

学校生活に慣れてきた子どもたち。活動範囲を広げ、近くの公園の遊具や自然に親しみながら自由に遊び、友達同士のかかわりを一層深めたり、みんなで遊ぶことの楽しさに気付いたりしていきます。



よーいドン!!

## 教材・活動の **Point!**

### 1. 繰り返しかかわることで活動がより充実する

近くの公園を活動場所に設定し、生活科だけでなく、子どもたちが日常生活の中でも繰り返しかかわることができますようにしました。同じ場所で何度も遊びを繰り返す中で、新たな発見や工夫が生まれ、遊びが広がったり深まったりします。



### 2. 互いの遊びを交流することで気付きが広がる

公園での遊びを互いに交流し合うことにより、子どもたちに新たな気付きが生まれ、思いが広がっていきます。学年の発達段階をふまえ、絵や動作化による表現を大切にしました。



### 3. 他教科等と関連を図ることで学びが充実する



国語科や図工科、特別活動や道徳などと関連的に指導を進めることにより、実際の活動場面を通して効果的に指導することができます。それぞれの学習内容を結びつけることによって、学びに連続性が生まれ、確かな力を育てることができます。